

大豆「東北69号」(奨励品種)

(農試 技術部・果南分場・果北分場)

1. 来歴

昭和48年、東北農試刈和野試験地で「ユウヅル」を母、「オクシロメ」を父に人工交配を行い、以後選抜・固定が図られてきた。昭和59年における世代はF₁₂である。若手果では昭和54年以降、系適試験、特性検定試験、生産力検定試験を実施して有望系統であることを確認した。

2. 特性の概要

山白玉より成熟期が2~4日早い晩生種である。山白玉より茎長はやや長めで、分枝数は多い傾向であるが開鎖し草姿が良い。蔓化倒伏は山白玉並みに強い。花は紫色、毛茸は白色、小葉は円形で熟葉は褐色である。

ウィルスの罹病が少なく、山白玉に比べて褐斑粒の発生が極めて少ない。子実は横円体型の白目で、百粒重は山白玉並みの大粒、品質は山白玉に勝る。

収量的には年度、圃場の違いを問わず、山白玉を上回り、ナンブシロメと同等かそれ以上の安定した多収を示す。

諸特性の表

品種系統	病・線虫害抵抗性				原料大豆乾物当	
	ウイルス病	紫斑病	黒腐病	根結病	蛋白質	脂質
東北69号	中	中	強	強	37.69%	19.92%
山白玉	弱	中	強	弱	39.06	19.59
ナンブシロメ	中	中	強	強	37.98	19.83

3. 奨励品種に採用したい理由

本県の大豆作付面積は89年度7,500haで、普通畑の20%近く、転換畑の10%強を占める。大豆作の収益性向上を図るためには、単収および商品化率の向上が必要で、良質・多収品種に対する要望が大きい。

若手果の大豆作の中で山白玉は、昭和50年代初めまでは大粒「山白玉」銘柄として商品化大豆の大部分を占めてきた。しかし、この品種はウイルス病に弱く、作付けが果中北部に限られていた。「東北69号」は「山白玉」に勝る粒大・品質と収量に加え、ナンブシロメ並みのウイルス耐病性を有することから、作付地帯を果南部にも拡大でき、山白玉にかわる本県主流品種となり得ることから、奨励品種に編入したい。なお「カルマイ」も東北69号で十分代替えでき、面積も少ないので奨励品種から除外する。

4. 適応地域・作型

標高300m以下の県下全域

5. 栽培上の留意点

- 1) 晩生種なので果中北部では晩播きを行わない。果南地帯でも6月中旬を限度とする。
- 2) 耐倒伏性は山白玉並みに強いが、肥沃地では培土等により防止に努める。
- 3) 栽植密度は標準播きで10,000~15,000本/ha位。遅れた場合は15,000~20,000本/ha位にする。
- 4) ウィルスにはナンブシロメ並みに強いが、アブラムシ防除や種子更新は従来通り留意する。
- 5) 施肥は山白玉並みとする。

6) 果南肥沃地では裂皮の発生が多い傾向なので、極端な早播きや密植を避ける。

6. 試験成績

1) 本分場における奨励品種決定基本調査(昭和56~59年の4年平均)

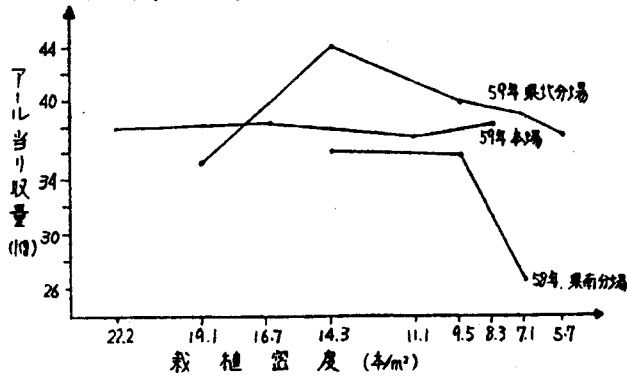
場所	品種	成熟期 (月・日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	総実数 (個/㎡)	7/11当り 子実重 (kg)	同左 標準比 (%)	百粒重 (g)	倒伏	障害			品質
										紫斑	褐斑	裂皮	
本 場	東北69号	10.13	53	4.5	569	30.3	128	30.3	無~少	無~微	無~微	無~微	中~下
	山白玉	10.19	51	5.3	533	23.6	100	29.9	無	無	無~少	無~少	中上
	ナブシメ	10.14	53	5.8	545	27.3	116	24.1	無~中	・	無~微	無~微	中上
	カルマイ	10.8	51	5.5	594	26.9	114	27.0	無~甚	・	・	無~少	中上
果南 分場	東北69号	10.17	95	5.3	692	32.2	131	30.8	少~多	無~微	無~微	微~少	中上
	山白玉	10.22	78	4.4	521	24.6	100	31.7	・	・	中~甚	・	中下
	ナブシメ	10.15	100	5.8	603	29.3	119	26.9	中~甚	・	無	無~微	上下
果北 分場	東北69号	10.16	70	7.0	574	29.3	119	30.0	無~中	無	無~微	無~微	中上
	山白玉	10.21	65	6.1	520	24.6	100	29.1	・	・	無~中	微	中下
	ナブシメ	10.15	73	6.7	504	25.7	104	23.0	微~多	・	無	無~微	中上
	カルマイ	10.10	69	8.0	644	30.5	124	28.3	無~多	・	無~微	無~少	中~下

2) ヤマセプロジェクト試験成績(種市町、昭和57~59年の3年平均)

東北69号	10.15	62	5.9	464	23.1	142	28.6	微~少	無	無	無~微	中中
山白玉	10.19	60	5.6	389	16.3	100	26.2	微~中	・	・	・	中下
ナブシメ	10.14	53	7.8	409	17.3	106	21.9	・	・	・	無	中下

3) 本、分場における栽培法に関する調査

(1) 東北69号の栽植密度と収量



(2) 東北69号の播種期と収量

